

図-6 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計815箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施する。
 <超音波検査(肉厚測定):791箇所、内面目視検査:24箇所>

○2次系配管の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の 点検対象部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,642	646
その他部位	1,294	145
合計	2,936	791

○2次系配管の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部24箇所について、配管内面から目視点検を実施する。
 その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査(肉厚測定)を実施する。

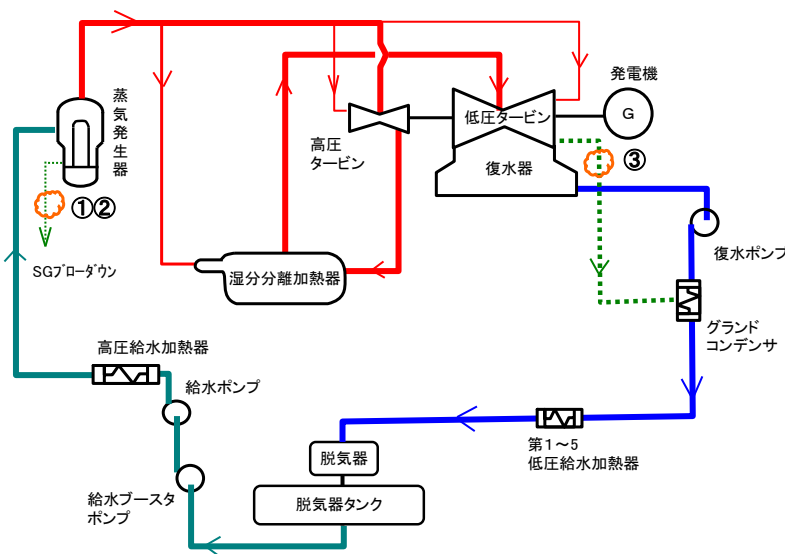
取替概要

○過去の点検において減肉が確認された部位4箇所、配管取替の作業性を考慮した部位32箇所、および今後の保守性を考慮した部位22箇所、合計58箇所を耐食性の優れたステンレス鋼または低合金鋼の配管に取り替える。

系統別概略図



☁ : 主な配管取替箇所



【取替理由】

- ① 余寿命5年未満で減肉が確認されたため取り替える。
 (4箇所)
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 4箇所
- ② 配管取替による作業性^{※1}を考慮して取り替える。
 (32箇所)
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 26箇所
 ステンレス鋼 ⇒ ステンレス鋼 6箇所
- ③ 配管の保守性^{※2}を考慮して取り替える。
 (22箇所)
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 20箇所
 ステンレス鋼 ⇒ ステンレス鋼 2箇所
 (合計 58箇所)

※1 配管取替時に近傍の配管も一緒に取替えた方が作業がし易いため取り替える。

※2 狭隘部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替える。